

日本人の忘れもの

第2部 忘れもの 46

日本のピアノ作品

音楽ホールに掲示されている音楽会予告チラシを眺めるのは楽しいことである。だが最近、気になる現象がひとつある。ピアノの巨大な顔写真や経歴の詐称が出没することに驚いているのは私一人ではあるまい。昔はもっとシブシブなポスターが海外・日本ともに貼られていたように思うが、「音楽」まで「宣伝」の時代に入ったのだろうか。



田隅靖子

京都コンサートホール館長

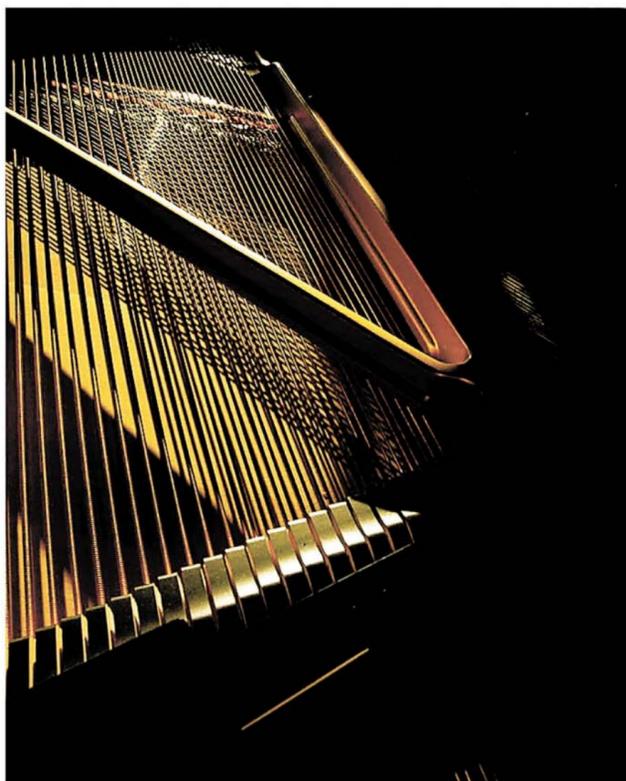
日本人作曲家のピアノ作品に 関心をもち弾いてみることを、 多くの日本のピアニストは 忘れかけているのかもしれない。

さて、今から1カ月ほど前の4月13日、京都コンサートホールでリサイタル「ピアノで綴る日本のメロデー」を開催した。かつて1987年に大阪で同種のリサイタルを開き、武満徹、松村禎三、永富正之、八村義夫、香月修、細川俊夫、藤島昌寿の作品を取り上げているので、今回は第2回目となる。

合奏・オペラの各分野で頻りに耳にすることができ、日本人のピアノ作品ばかりを演奏するリサイタルは多くない。

開きがあるのだが、この間に日本のピアノ作品は複雑さを増し、演奏上の困難を伴うようになり、世界中に通じるようになつたと思う。

では、今秋10月10日に、新企画「創作の現在」関西の若手作曲家を中心に主催する予定である。これからの日本作曲家になつて若い人材を育成し、京都・京都から世界への「忘れもの」の少ない発信ができることを願っている。



洋楽を志す人間は、その作品・演奏に日本人音楽家にしか出せない深い味を出す使命を果たさねばならない。

「日本にも多くの良い作品があることを知り、興味をもった」との感想を予想以上いただいた。

戦後、日本人は物の豊かさと引き換えに大切なものを忘れてきたのではないだろうか。日本人が忘れつつある価値観が今も生き続ける千原の都・京都から温故知新の知恵を発信する。(毎週日曜日に掲載します)



1995年に完成した京都コンサートホール。(京都市左京区)



近代日本人作曲家の先駆けと言われる瀧廉太郎。四城跡に立つ瀧廉太郎像。(大分県竹田市)

現在、日本人作曲家のピアノ作品に関心をもち弾いてみることを、多くの日本のピアニストたちは忘れかけているのかもしれない。ピアノの勉強は晩学だった私も40歳近くになって初めてヨーロッパピアノ研修旅行を開始、フランス、ハンガリー、ロシア、そしてチェコでは、アウシュヴィッツを追い、絶たれたウルマンとクラウゼンを迫る。

その作品でリサイタルを開いてきた。絵画に日本画と洋画があるように、音楽にも邦楽と洋楽がある。洋楽を志す人間は、広いヨーロッパの古い歴史を持つ音楽を多く知った上で、その作品・演奏に日本人音楽家にしか出せない深い味を出す使命を果たさねばならない。

きょうの季寄せ(五月)

百合の蕾
狐の顔に
似たる哉

青木月半



たえばパンジー、三色の花を何に見えますか、と尋ねると胡蝶花・胡蝶草の異名がそれを物語つていよう。生きものの顔と似た人々の顔を思い浮かべたりすることがある。

掲句の発想の一つの広がりとして、よいであろう、後藤夜半には「山上権良を鹿の顔に見き」がある。それならば石の表情はどうだ。(文・岩城久治)

「きょうの心伝」募集

平井七百次

めだかの減少に心を砕く

春が来ると「春の小川」や「めだかの学校」などの童謡を、みんなで楽しく歌った幼い頃を思い出すところ。最近では、そのめだかの姿を見かけない。めだかだけではなく、泥鰌や小魚の姿も見かけなくなつた。もう過去の生物になつてしまった感じがする。

生物種の絶滅は、リベット(鉄)を次々と落とすしながら飛ぶ飛行機に例えて、その数が増えたとやがては空中分解してしまつと、誰かが言っていた。

発生してから後手後手の対応に右往左往するよりも、事故の発生と被害が予想される段階で、真摯に対策を練る進取性がほしい。

「きょうの心伝」募集
●あなたの思う「日本人の忘れもの」は何ですか？暮らしの中で忘れてはならないと思う日本人の心の系譜や、伝えたい京都に残る心遣いなどを寄せてください。京都新聞社で連載、送迎する場合があります。原稿は返却いたしません。タイトル(12文字以内)と本文(40文字以内)、郵便番号、住所、氏名(匿名は不可)、職業、年齢、電話番号を明記し、〒604-8577 京都新聞COM「きょうの心伝」係まで。
E-mail: wasuremono@ankyoto-np.co.jp
Fax: 075-26212000

2013年
第4回 KYOTO
KAKIMOTO

恋文大賞

「恋文大賞」の
入選作品が
本になりました!

全国有名書店
にて発売中!

定価: 税込1,260円
発行: PHP 研究所



募集テーマ 「ありがとう」の思いを伝えたい。

恋する人や愛する家族、友人や恩師。また、心に安らぎを与えてくれたペットや故郷の風景……など、対象は何でも結構ですので、あなたの感謝の思いを手書きの文章やイラストに託してご応募ください。

応募受付中!! 8月31日(土) 応募締切(当日消印有効)
12月1日(日) 入選発表・授賞式

募集要項 A・Bともに日本語の自作未発表原稿で一人1作品に限ります

募集内容 ※先ずタイトルとして「伝えたい相手」を書いてください。
A: 文章(手紙・作文)部門——800字以内、できれば手書きで。
B: イラスト、絵手紙部門——用紙制限なし、手書き限定。

応募資格 小学生以上の方ならどなたでもご応募いただけます。

応募締切 2013年8月31日(土) 当日消印有効

送り先 ※郵便またはメール便で、お送りください。

〒601-8121 京都市南区上鳥羽大物町19
柿本商事「恋文大賞」◎係

必要明記事項 ※性別・国籍は問いません。下記①～⑦の項目を全てご明記ください。

①氏名(ふりがな) ②生年月日 ③性別(男・女)
④職業(小・中・高校生は学校名と学年) ⑤住所・郵便番号
⑥電話番号(日中連絡の取れる) ⑦応募内容(AまたはB)
※「KYOTO KAKIMOTO 恋文大賞」ホームページより応募用紙がダウンロードできます。

賞
・大賞1名(賞金30万円)・優秀賞5~6名(賞金15万円)・佳作(記念品)

選発表・授賞式 2013年12月1日(日)
「KYOTO KAKIMOTO 恋文大賞」ホームページにて発表
ウェスティン都ホテル京都にて授賞式開催

お問い合わせ
電話またはホームページよりお問い合わせください。

「KYOTO KAKIMOTO 恋文大賞」事務局 TEL: 075-662-0135 (平日9:30~17:30)
「恋文大賞」検索、http://www.koibumi-kakimoto.jp/

※過去の入選作品や授賞式の様子もご覧いただけます。

※応募作品の全ての著作権は、柿本商事(株)に帰属するものとします。応募作品は返却いたしません。また、応募作品は、出版・映像化される事がありますので、予めご了承ください。

※応募者の個人情報は、恋文大賞に関する発表や連絡、賞品の発送、また、出版など応募作品の利用には使用せず、個人情報の適正な管理に努めます。

紙を超え、京都から世界へ
ESTABLISHED 1845
KYOTO KAKIMOTO
柿本商事株式会社
http://www.kyoto-kakimoto.jp/